

【「令和2年1月～12月に雇用創出促進資金（融資対象1及び融資対象2）の融資を受けた方」かつ「年途中で雇用状況の変動があった場合」】

融資実行日 令和2年7月15日
当初借入額 (円) 20,000,000
雇用状況 a.資金借入時にA氏とB氏を非正規雇用
b.令和2年9月15日にA氏が退社
c.令和2年10月20日からC氏を非正規雇用
d.令和2年12月21日にB氏とC氏が退社
【注意・重要】雇用状況に応じた利子補給率
○補給率1.50% 1名新規雇用（正規雇用等）を行う場合
2名以上新規雇用（非正規雇用）を行う場合
非正規雇用から正規雇用等に2名以上転換する場合
○補給率1.00% 1名新規雇用（非正規雇用）を行う場合
非正規雇用から正規雇用等に1名転換する場合

利子補給金計算書（1月～12月）

氏名（法人にあっては名称）：

利子補給率（%）:(A) 0.00 1.00 1.50 返済金額（円）:(B) 500,000

(例)

Table with columns: 返済年月日 (C), 融資残高 (円) (D), 利子補給率 (%) (A), 利子日割日数 (日) (E), 交付申請額 (円):(F) (D) x (A) x (E) ÷ 365, 備考. Rows include dates from July 15, 2020 to December 21, 2020, and a summary row for total amount (G) 97,435 and (H) 97.

雇用状況 b

- ① 基本的に融資実行時に利子支払がなければ「後払い」の場合が多いですが、詳細は取扱金融機関へご確認ください。
② 利子補給率(A)欄には、雇用状況に応じた利子補給率（0%、1%、1.5%）を記載してください。
③ 返済金額(B)欄には、毎月の返済額を記載してください。
④ 返済年月日(C)欄には、(C1)に融資実行日、(C2)に毎月の返済年月日を記載してください。
⑤ 融資残高(D)欄には前月末の融資残高を記載してください。
⑥ 利子日割日数(E)欄には返済年月日間の経過日数を記載してください。
⑦ 利子補給対象期間は、融資受けた日から3年を限度としています。対象期間の利子日割日数計算上の最終日は融資実行年月日の3年後の契約上の返済日ではなく融資実行月の前日となります。

パソコンによる入力方法（入力用シートは、沖縄県のHPに掲載していますので、下記のURLからダウンロードしてください。）

URL : https://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/keiei/kinyu/rishihokuyuu.html

- ① 基本的に網掛けの部分が入力欄です。
② 利子補給率(A)欄には雇用状況に応じた利子補給率（0%、1%、1.5%）を入力してください。
③ 返済金額(B)欄には毎月の返済額を入力してください。なお、元本据置の場合は入力する必要はありません。
④ 返済年月日(C)欄には、(C1)に融資実行日、(C2)に毎月の返済年月日を入力してください。
⑤ 融資残高(D)欄の最初の欄(D1)には当初借入額を入力してください。
⑥ 利子日割日数 (E)欄は自動計算となっていますが、年途中で雇用状況が変わり利子補給率が変更となった場合、直接入力してください。
⑦ (A)～(D)欄の入力の結果、(H)欄に算定された金額が利子補給金交付申請額となります。

※ ご不明な点があれば沖縄県中小企業支援課金融融資制度担当（TEL：098-866-2343）までお問い合わせください。